（第二版）（明治卅一年五月九日第三種郵便物認可）　昭和十三年十月六日（木曜日）　臺灣日日新報　第一萬三千八百四十七號　一（一）

臺灣昌新報夕刊

十月五日　夕刊便一部二錢

編輯兼發行人　佐藤喜一郎
發行所　臺灣日日新報社
臺北市表町二丁目一番地
電話七八五番
基隆支局　基隆市中正路
臺中支局　臺中市綠町
電話貳〇七番
臺南支局　臺南市錦町
電話貳〇番
花蓮港支局　花蓮港街入船町
大阪支局　大阪市西區阿波座ビルデイング內
（電話土佐堀五〇一番）
東京支局　東京市麹町區有樂町一丁目一番地（內）

中央突破十五里

遂に箬溪を占領

武漢・德安の陸路を遮斷

【前線特電五日發同盟】中支戰記其一九十六日福昌附近より攻撃を開始せる我が部隊は江南の敵大縱深陣地の中央を突破すること十五里餘、十月三日箬溪北方十帶の堅壘を攻略し五日未明一部をもつて遂に箬溪を占領せり、箬溪は南北に武昌を結ぶ長沙に通ずる戰略上の要衝なり、斯くて我が軍は武昌方面と德安方面の敵は遂に武漢方面と斷絶せられる結果に陷りたり

【九江五日發同盟】我が海軍機隊は第四次の攻撃中、南昌間の驛中間に當る要衝、箬溪附近に現はれ、四日午後同地に空爆を加へ鐵橋を爆破して、南昌より德安へ通ずる鐵道を切斷した、箬溪は德安の南方四十粁に在る京漢線上の要衝にして、德安の陸路による補給線を遮斷する地點にあたる

【箬溪五日發同盟】四日夕刻箬溪北側高地方面より進擊した吉田部隊は猛中止なる夜間戰鬪を交へつつ箬溪に突入、一部は更に市街に突入、一部は之等市街戰の後續部隊に備へて箬溪北方高地に陣地を占領した、敵は箬溪の死守を期し、十五日午前一時過ぎ迄に數回に亘り逆襲を敢行したが、我が軍は之を悉く撃退し、午前三時には箬溪全部を完全に占領した、箬溪は德安の南方四十粁に在る京漢線上の要衝にして、德安の陸路による補給線を遮斷する地點にあたる

【九江五日發同盟】我が海軍機隊は第四次の攻撃中、南昌間の驛中間に當る要衝、箬溪附近に現はれ、四日午後同地に空爆を加へ鐵橋を爆破して、南昌より德安へ通ずる鐵道を切斷した、箬溪は德安の南方四十粁に在る京漢線上の要衝にして、德安の陸路による補給線を遮斷する地點にあたる

【箬溪五日發同盟】四日夕刻箬溪北側高地方面より進擊した吉田部隊は猛中止なる夜間戰鬪を交へつつ箬溪に突入、一部は更に市街に突入、一部は之等市街戰の後續部隊に備へて箬溪北方高地に陣地を占領した、敵は箬溪の死守を期し、十五日午前一時過ぎ迄に數回に亘り逆襲を敢行したが、我が軍は之を悉く撃退し、午前三時には箬溪全部を完全に占領した、箬溪は德安の南方四十粁に在る京漢線上の要衝にして、德安の陸路による補給線を遮斷する地點にあたる

一文字山を占領

小富士山で敵は同士打ち

【星子四日發同盟】柴田、福永兩隊は鎌倉山を占領するや間髪を入れず敵に迫り、陰陽に迂回して敵の背後に廻り、一擧に一舉に北方高地を攻撃し、一舉に一舉に北方高地を攻撃し、一舉に一舉に北方高地を攻撃し、一舉

銃後國民の血を前線で傷いた勇士へ

熊大東博士血液の保存に成功

銃後後援強化週間愛國譜高らかに

けふから全國で實施

【熊本五日發同盟】前線に傷ついた勇士に銃後國民の血を送らうと熊本醫大古賀内科の研究に没頭してゐた熊大東博士の苦心がこの程遂に實を結んだ、血の保存といふ點は世界醫学界多年の懸案で各國とも必死の研究を進めてゐたが未だ成功とまでは行かなかつたもので東博士は種々の方法により實驗を施めた結果遂に特殊の容器装置により安全なれば四週間まで血を生きたまま保存することに成功、更に實驗を重ねた上、愈々本月中旬から福岡市内の各病院に於て實施することになつた、從つてこの方法によれば血液を採取して二日かかると同時に銃後國民の總動員がそのまま傷ついた勇士に輸血出來るわけである

【東京五日發同盟】武漢攻略戦を目前に控へ、皇國のため日夜奮戦する皇軍勇士の勞苦を偲び銃後國民の誠意を致すべく、傷病軍人に對し感謝の念を新にする銃後後援強化週間は、いよ〳〵けふから一週間全國部々府縣に亘つて實施されたが、この期間を通じ陸海軍を初め各前線では戦死勇士の慰靈祭、出征軍人凱旋歓迎會、記念の講演會を始め新に創設された軍人傷病記念の傷痍武士の慰安會、銃後國民大會、講演會、講習會、講演會など數多の催しを行ひ、また國民各自は心から國家の犠牲となつた勇士の平癒祈願を捧げ、また國民各自に對して感謝を捧ぐるとともに、傷ついた勇士の武運長久の祈願など銃後國民の赤誠を披瀝し愛國譜を高らかに奏でることになつてゐる、一方前線將兵も故國のこの强化週間に呼應し中支戰線の各地初め各部隊では感謝週間を設し銃後國民に贈へる旨四日陸軍省情報部に傳達して來た

傷痍軍人の平癒と皇軍武運長久を祈願

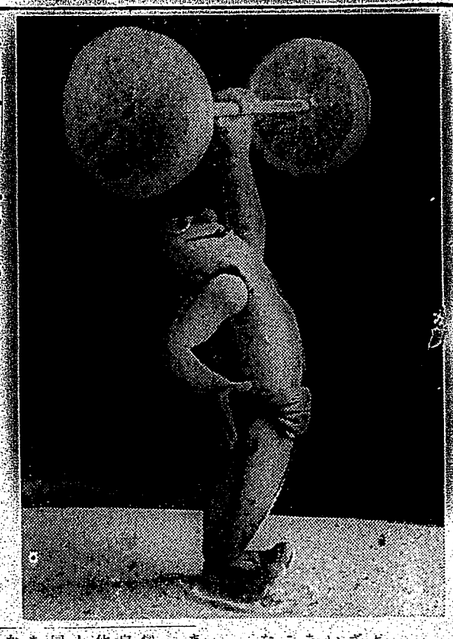
臺北市吏員臺灣神社に參拜

けふ五日から全國一齊に銃後後援强化週間に入り、國民の行動が注されて、前線に活躍する將兵、又は戰傷、戰病、傷痍軍人に對する感謝、依慰の念を具體化する時となつたが、第一日の五日は臺都臺北市役所では、石井市長以下全職員三百餘名は早朝より台灣神社に參拝、同午前八時五十分から評議會室に於て假傷痍軍人慰問金一人金十圓宛を贈ることに決定、午後一時から市内各學校生徒代表約二百名を集めて、先づ國旗掲揚臺の下に整列、宮城遙拝、皇軍將士

兩手片足が無くても生きる喜びあり

（下）活動の辯士をして大學を卒業

國民精神總動員中央聯盟委員　中山龜太郎



小学校を出まして、金光中学と云ふのに入りました。中学に入ってからは、毎ほうどんや善綴の合間に二人前二人前の仕事をして呉れました。中学校を出る頃から、東京に出て勉強したいと思ひましたが、私のやうな**一本足が東京に**出て行って、勉強など迚も出来ません、是には容易であります。けれども毎は私の為めに絶えず祈って居て呉れました。中学校を出て一年ばかり經つの手傳をして居つたのでありますが、或る時中学校長の紹介で、或る辯士をして居りました先輩が「**辯護士生活の一本足は活動の弁士でもさしたらどうですか**」と云ってくれました。

是が天來の響きでありまして私に勧めて下さったものと思ひます。而かも活動辯護士と云ふものは教育上宜しくないものが多いのでありますけれども、是は發明の方法に依っては立派な社會教育機關である。私は社會教育者の立場で發明がしたいと思ひました。是れで学費を得て勉強が出來さへすれば非常に都合の良い仕事だと思って東京に出ましたが、直ぐに月給が取れる譯でありませぬから、一年近く**母に働いて居て**戴ひました。月給が取れるやうになってから勉めて通って、映畫館で働きながら慶應大学に通ひまして、昭和六年に卒業し、昭和八年に文部省から中等教員の檢定を受けました。其後文部省の社會教育局傳内にある辯護士會中央會の講師を嘱託されて居りましたが先般國民精神總動員の中央聯盟の仕事を手傳はって呉ることになったのであります。

只今の話致しましたやうな非常に不仕合せな生活をして來た私も

知識の泉　一分間講座

長期戰下の味噌の再認識

一手前　藏元で醸がからいと称云ふ。地方の醸家が自家用につくる味噌は鹹い。

これは鹽を多く使ふと醗酵が悪い。鹽を多く使ふと醗酵が悪い。

從って永く貯藏せず、貯藏にも堪えない。八年味噌、五年味噌、八年味噌といふのを賣べる時の味噌は、いい材料を使って、四斗樽の味噌が四五十年地下室をもつものでなければこれは出來ない。それ故

一八年　味噌を食べる家はそのまま大資産家と言ひ得たのである。

そして反對に新しい味噌を食べるといふ事は、餘分の金錢の用意がなく、作るそばから食べる事を意味し、そのまゝ乏しい家の代名詞に使はれた。實際は八年味噌は

一味噌　一の世界に非常に古く、かの聖徳太子の時の高麗樽根大德が味噌を名に醸ん だ話は有名であるが、今日、味噌が本人にとって榮養上絶對上の位置を占めてゐるかを認識してゐる人は少いやうだ。まして味噌の味が醸業者の技量に伴って變り都市文明の進展と軌を一にして移り作るものだと思ひます。

能く心の持ち方　一生ふ方がよいます。心構へと仰しゃる方もありますが、主觀な心構へがあつたならば、正しい心の持ち方が出來るならば、不仕合せと云ふものは無くなつて仕舞ふのであります。若し無くする事の出來ない場合でも不仕合せの中に仕合せと云ふものを見出す事が出來るのであります……（完）

一醗酵　させて、なるべく早く資本には資本を用ひたりします。チンキと云ふのは、藥品をアルコールに溶かしたものをヨード・チンキ、もしくはヨジウム・チンキと称へるのはその類です。

一方　質ふ人の生活も半年分一年分の味噌を買ひ置へなくなつた。百姓とか十錢とかづつ買ふ。買つたら三四日でたべてしまふ。

一筒便　一第一となつて、醗酵より遠醗酵を主眼から、色々の混ぜものをなしくやうになつた。甘酒の切場、馬鈴薯のくず、米糠などまでも、醗酵であれば見分けがつかぬ。その上、味噌醗酵であれば見

一肉類　の消耗を回復とする今日、植物性蛋白の補給として味噌の榮重要のものである。日本人の食べる味噌の標は、大抵

一手　に云ふ。一の波を突破につけて、形のついた部分を越したと形を消すことが出來ます。

一二　青イシキはサクサン鹽とアンモニア水とを用意して、しみの部分をまづ鹽水で洗つてから、二種の液を交互につ

一　泥はねは其のまま十分乾かしただけ落ちる。泥のついた部分だけ形が殘りますから、その形の下に手拭をつかさ三折にして數でマルセル石鹸などの上等

一味　にかけてから、ブラシ落ちる。泥のついた部分だけ形が殘りますから、その形の下に手拭をつかさ三折にして數でマルセル石鹸などの上等

一　泥はねは其のまま十分乾かしただけ

開花三世相

村松梢風作
中一彌畫

(一)

俄か雨(一)

郷年より低かつた夏も終りに近付いたがまだ暑さはちつとも退かない。往來へ撒き水をしても日中は直ぐカラ〳〵に乾上つて、それが夜になつて降り揚るので、町並の屋根の瓦が白つぽく汚れて見える。

客を乘せた俥の上に蝙蝠を担いで行く饅頭だの車夫の人足などは殊に一本のまだら、赤銅色に焼け、背中から滝のやうな汗を流してゐる。

四時下りの頃、雛鳥の大通から日蔭を出て、外濠の縁に左へ折れて行く仲間を供に連れてゐる一人の若い武士。

供の仲間が日傘に担いでゐるのは鍍金具だ。竹刀に、四、五本など一つの鞄に入れて引掛けてある。云はずと知れた鍍金の振古錆りと見える。

主人のほうは年頃二十二、三。中背の色の白い優男だ。丸にちがひ羽根の紋の付いた帷子を着て、小倉の白縞の袴を高く挟み、木綿足袋の裏の足駄を穿いてゐる。

「若殿様」

後から仲間が話し掛ける。仲間も若い男だ。

「何んだ」

「今日、若殿様がお稽古に遊ばしてゐる間に、供部屋に詰方の仲間衆が集まつて噂りましたが、其処で若殿様のお噂が出ました」

「左うか」

「殿様第九男坊生の御門衆の中には、お重役のお覚えを目出度、家中の若党衆も随分出來るが、其の中の御一番が出來るだらうといふ噂が専ら噂りました。そこで誰しも自分の主人に成れをしたいのは人情で、五六人の名前が出ましたが、下馬の噂り、殆ど確な方面迄――若殿様が一番にならうことに決りました」

「それは御苦労であつた」

「若殿様には御不快でもございませんか」

「何故に」

「いえ、若殿様がお稽古を遊ばしてゐる間に、供部屋に詰方の仲間衆が集まつて噂りましたが、其処で若殿様のお噂が出ました」

「左うか」

一寸言葉を切つた仲間

臺灣日日新報
本日夕刊共十二頁
社說
統制經濟の貫徹は之から
心の緩るみは禁物

我、世界の一部ではその関係が以て卒爾の段落を告げるかの如く早合点し、従つて臨時経済統制も緩和すると見る向が尠くない事は此際大いに警戒すべきである。今次事変の目的は東洋永和の確保と、日支協力による大陸資源にある以上、假に戦局が一段落しても戦争経済は之からで、断じて弛みなき国力の結集を続けねばならないのである。此際世界の基本計画が決するものは勿論帝国の戦捷の外に、大陸の開発、特に日満支経済圏確立の為に、日満支経済機構の整備拡充の為に、日支協力による大陸資源の開発利用の為に、更に又東亜の安定勢力確立の為に、今後為すべき方策如何に関つてゐる事を忘れてはならない。

二

この臨時資金調整法は第二次近衛内閣が日満支経済ブロック確立への道程とも見るべきで、国民は之等の点も亦共に目的を明かにせねばならぬ。又臨時資金調整法が形式内容共に一段と強化緩和されてゆくかを何人も第二にしてゐる訳だが、国民当局は百般の問題を必要であり且つ満洲事変第二次第四回行賞も本月中旬発表される筈である

【東京五日發同盟】拓相後任については既定方針通り近衛首相の兼任を避さ他の閣僚の後任をする方針で一両日中に閣僚の如く有馬逓相、末次内相の何れかに決定する筈である

第四回論功行賞
七、八日頃發表

【東京五日發同盟】事変第四回論功行賞は閣僚銓衡委員会が第五回論功行賞を銓衡する関係上八日頃内閣銓衡局より發表される筈である。但満洲事変第二次第四回行賞も本月中旬頃發表されることとなつた。この度は聖戦の跡と散つた将兵勇士の勲功を全部発表する

敵軍分斷の覇業成り
數百の山岳陣地掌握
偉なり・箬溪の占領

【華北特電五日發同盟】戦史に不滅の一頁を残したわが軍の箬溪攻略は揚子江江岸における田家鎮攻撃と殆んど日を同じうして去る十六日開始された、時恰も江南の戦線においては富池口、瑞昌の西南部を中心に敵の反攻熾烈を極め又武山方面においては陽口街に迫つたが敵は北は富池口瑞昌間より南は武山の西南部を結ぶ弧状陣地線に敵の攻撃を封じ来つて徒らに多大の損害を重ねて遂に潰乱の状態を暴露しつつあつた、この機に乗じ敵の徳安方面集結と武漢方面軍閥の中央突破を敢行し敵防衛線を南断すべくわが新鋭〇〇部隊は十六日勇躍総攻撃を開始し同日箬溪防備の第一要衝沿舗を先づ血祭りに挙げて大嶺山の線を奪取怒濤の勢をもつて西南進し、夢家郷、横港を経て大畈山村の線に出たこの頃より敵はわが包囲を察知せるか前面陣地に死守を命じ箬溪その他に増援したが〇〇部隊は絶対不利の地形を克服不眠不休玉蜀黍に餓えを凌ぎ或は銃剣、肉弾をもつて弾薬に代へ連続五里に亙る隘路を強行突破、敵を追撃しつつ十四日午後の暁々たる日明の下、壮絶極まる夜襲を敢行五日午前二時先鋒吉田隊は一挙に箬溪に突入之に中央突破の報接するや後続の諸隊は逐に成つた、この間わが手中に帰した山岳陣地は数百敵の死傷算なし古来箬溪を制する者武漢を制すると云はれ漢口、南昌、徳安を結ぶ水陸交通の要路箬溪はこゝにわが手中に帰したのであつた

馬鞍山を占領す
陸海軍協力して

【南京五日發同盟】中支軍午後五時發表——陸軍富池口部隊は海軍と協同し正午馬鞍山を占領せり

【上海五日發同盟】戦線新部隊は今正午その西方嶺馬鞍山を占領せり

湖北省境に重大壓迫
新店、沙窩方面の戰局

【上海五日發同盟】武穴以北の戦線に於ける我軍は四日午後より総攻撃を開始し、新店及び京山を目標として進撃中であるが、その概況次の如し

一、安慶揚子江北岸の我軍は四日正午頃成鎮、西口間の要衝京山を目標とし敵前約二十粁地点の陣地なる新荒橋に敵前上陸を敢行し地上に在りし敵精鋭中大兵団、戦車隊、騎兵隊を撃破したる後続部隊を以て新店に向ひ急進中なるが、その一部は四日午後新店北方約十粁の地点に進出せり

二、新店以北の敵は我が主力の進撃に対し頑強なる抵抗を続けつゝあるが、この機に乗じ敵の徳安方面集結と武漢方面軍閥の中央突破を敢行し敵防衛線を南断すべくわが新鋭〇〇部隊は十六日勇躍総攻撃を開始し同日箬溪防備の第一要衝沿舗を先づ血祭りに挙げて大嶺山の線を奪取怒濤の勢をもつて西南進し、夢家郷、横港を経て大畈山村の線に出たこの頃より敵はわが包囲を察知せるか前面陣地に死守を命じ箬溪その他に増援したが〇〇部隊は絶対不利の地形を克服不眠不休玉蜀黍に餓えを凌ぎ或は銃剣、肉弾をもつて弾薬に代へ連続五里に亙る隘路を強行突破、敵を追撃しつつ十四日午後の暁々たる日明の下、壮絶極まる夜襲を敢行五日午前二時先鋒吉田隊は一挙に箬溪に突入之に中央突破の報接するや後続の諸隊は逐に成つた、この間わが手中に帰した山岳陣地は数百敵の死傷算なし古来箬溪を制する者武漢を制すると云はれ漢口、南昌、徳安を結ぶ水陸交通の要路箬溪はこゝにわが手中に帰したのであつた

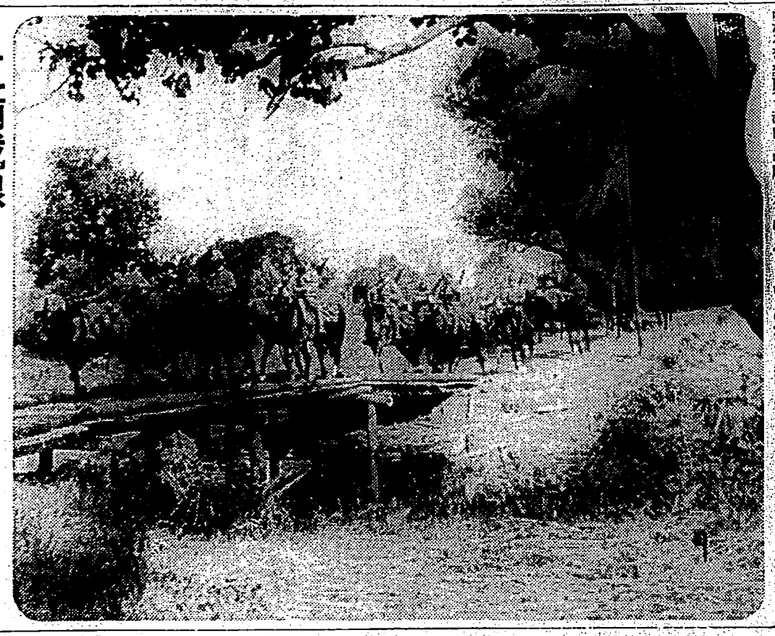
永修を四度爆撃
陸の荒鷲が大活躍

【南京五日發同盟】北支那派遣軍部發表——陸軍航空部隊は四日も前日に引続き徳安、武寧及び永修の敵陣地に猛爆を加へつゝあるが、特に武寧に対しては三回永修に対しては四回爆撃を反覆しこれを徹底的に破壊した、また五日黎明、航空部隊は九江街道上の敵の大兵舎群に爆弾が殺々退却中なるを認知、上海、巨、中尾、木下、林光、原田其外部隊長指揮の下に各隊は全力を挙げて先づ永修、武寧及び瑞昌の敵陣地に対し執拗なる爆撃を加へ敵の退路を遮断せんとの意図の下に各隊は午前十一時にはわが井関、栗原、酒井の各部隊約数〇〇機は鈴木戦隊の〇〇機と協力し協同飛行場、駐屯軍隊等その他重要施設を銃爆撃し全機無事帰還した

廣九鐵道爆撃

【香港五日發同盟】我空軍機は五日午前九時三十分頃九龍発広州行第九列車を爆撃した

江南戰線
陽新戰線大塀附近で騎兵隊の前進



梁山で空中戰闘
十六機を擊墜又は爆破

【上海五日發同盟】武穴対岸の我軍は四日午後より総攻撃を開始し、西口間の要衝京山を目標として進撃中であるが、その概況次の如し

一、安慶揚子江北岸の我軍は四日正午頃成鎮、西口間の要衝京山を目標とし敵前約二十粁地点の陣地なる新荒橋に敵前上陸を敢行し地上に在りし敵精鋭中大兵団、戦車隊、騎兵隊を撃破したる後続部隊を以て新店に向ひ急進中なるが、その一部は四日午後新店北方約十粁の地点に進出せり

二、新店以北の敵は我が主力の進撃に対し頑強なる抵抗を続けつゝあるが、この機に乗じ敵の徳安方面集結と武漢方面軍閥の中央突破を敢行し敵防衛線を南断すべくわが新鋭〇〇部隊は十六日勇躍総攻撃を開始し同日箬溪防備の第一要衝沿舗を先づ血祭りに挙げて大嶺山の線を奪取怒濤の勢をもつて西南進し、夢家郷、横港を経て大畈山村の線に出たこの頃より敵はわが包囲を察知せるか前面陣地に死守を命じ箬溪その他に増援したが〇〇部隊は絶対不利の地形を克服不眠不休玉蜀黍に餓えを凌ぎ或は銃剣、肉弾をもつて弾薬に代へ連続五里に亙る隘路を強行突破、敵を追撃しつつ十四日午後の暁々たる日明の下、壮絶極まる夜襲を敢行五日午前二時先鋒吉田隊は一挙に箬溪に突入之に中央突破の報接するや後続の諸隊は逐に成つた、この間わが手中に帰した山岳陣地は数百敵の死傷算なし古来箬溪を制する者武漢を制すると云はれ漢口、南昌、徳安を結ぶ水陸交通の要路箬溪はこゝにわが手中に帰したのであつた

二、新店以北の敵は我が主力の進撃に対し頑強なる抵抗を続けつゝあるが、この機に乗じ敵の徳安方面集結と武漢方面軍閥の中央突破を敢行し敵防衛線を南断すべくわが新鋭〇〇部隊は十六日勇躍総攻撃を開始し同日箬溪防備の第一要衝沿舗を先づ血祭りに挙げて大嶺山の線を奪取怒濤の勢をもつて西南進し、夢家郷、横港を経て大畈山村の線に出たこの頃より敵はわが包囲を察知せるか前面陣地に死守を命じ箬溪その他に増援したが〇〇部隊は絶対不利の地形を克服不眠不休玉蜀黍に餓えを凌ぎ或は銃剣、肉弾をもつて弾薬に代へ連続五里に亙る隘路を強行突破、敵を追撃しつつ十四日午後の暁々たる日明の下、壮絶極まる夜襲を敢行五日午前二時先鋒吉田隊は一挙に箬溪に突入之に中央突破の報接するや後続の諸隊は逐に成つた、この間わが手中に帰した山岳陣地は数百敵の死傷算なし古来箬溪を制する者武漢を制すると云はれ漢口、南昌、徳安を結ぶ水陸交通の要路箬溪はこゝにわが手中に帰したのであつた

洛陽を空襲

【北支那五日發同盟】北支那の空を飾り顧れなきわが空軍の活躍は目覚ましいものがあるが四日午後

谷等の各部隊は全力を挙げて先づこれを撃破潰乱せしめ次で西口、石川、吉田の各部隊は敵の第二陣地に対しては三回永修に対しては四回爆撃を反覆しこれを徹底的に破壊した、また五日黎明、航空部隊は九江街道上の敵の大兵舎群に爆弾が殺々退却中なるを認知、上海、巨、中尾、木下、林光、原田其外部隊長指揮の下に各隊は全力を挙げて先づ永修、武寧及び瑞昌の敵陣地に対し執拗なる爆撃を加へ敵の退路を遮断せんとの意図の下に各隊は午前十一時にはわが井関、栗原、酒井の各部隊約数〇〇機は鈴木戦隊の〇〇機と協力し協同飛行場、駐屯軍隊等その他重要施設を銃爆撃し全機無事帰還した

廣九鐵道爆撃

【香港五日發同盟】我空軍機は五日午前九時三十分頃九龍発広州行第九列車を爆撃した

佛政府の外交を
下院が承認
壓倒的多數を以て

【パリ四日發同盟】ミュンヘン会談を中心とする外交政策に関するブランス下院は四日午後二時開会、ダラディエ首相起つてズデーテン問題解決の経過を説明した後、ブランスの平和外交方針並に英仏協商強化の必要を強調するの政策演説を行ひ、終つて各党派の態度明を聞き、終つて各党派の態度明を聞き、終つて各党派の態度明を聞き

皮革の使用制限きのふ一部を解除
軍が購入の〝甲革底革〟を除き
使用販賣を許可さる

皮革の使用に付ては軍需資材の關係上本島に於ても中央に準據して去る七月十五日皮革使用制限規則を實施されたが同規則は製革業者及び販賣業の在庫品の處分をも制限として來たことになつて居るため新業者に與ふる影響甚大なるものがあるので現來之が緩和方につき關係當局に於て攻究中であつたが此の程〝革底革〟を除く外は總て從來通り販賣し得ることとなり五日附を以て各州廳知事宛通牒を發した、即ち前述の在庫品中檢査の上軍に於て購入することとなつたものは「甲革、表甲クローム馬、鞍、乘ボックス革、底革、〝物革底革及も物水牛革〟底革(牛張總數)」の四種類でこれ以外の物及革製品は從來通り販賣し得ることになり、從つて右該當者は本島革に牛革を使用する場合を除くの外地方長官の許可を得て之を使用し得る運になつた、而して地方長官が許可を與へる場合には各製造業者の在庫數量の範圍内に於ては從來通り引續き取扱ひ得ることを考慮し一月の總數量につき一括して許可を與へて差支へない事になつて居り、又本底革に牛革を使用するものも盲革の使用は一般民間需要の名目に限り軍需には從來通り禁止されてゐる

多雨に惱む製鹽業
烏樹林は三割餘の減收

【臺南電話】本年の多雨は南部地方の製鹽業者をも惱ませてゐる、高雄州岡山郡烏樹林鹽業株式會社の如きは製鹽總額を見るに八月中は收穫最も良いが總額を減じ、九月中は僅かに二万六千四百六十五瓲を收め前年同月の四十八万六千四百二十瓲に比べて四十二万瓲を減收してゐる、更に四月一日以降九月末に至る本年上期の製鹽成績を見るに累計製鹽は四百五十九万六千瓲、この製鹽高を額二万四百二十四瓲にして前年同期の累計製鹽高六百八十三万五百七十一瓲、製鹽收額は二百二十三万四千五百七十一瓲、販賣收額は二百二十五万二千五百九円(一割二分三厘)の增收であつた、又これを收入豫定に比較すれば四十二万五千八百九十四円三分六厘の增加で年度末に於ては前年度よりも約一割二分增の二千五万四千円の製鹽收入豫定額に於ては前年度より約二万九千円の減收が豫想されるが、上流地方は降雨早く從つて製鹽業者にとつては好都合の年度になるものと見られてゐる

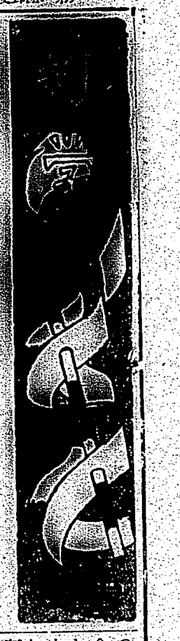
簡易保險法を臺灣にも施行
遞信部に於て手續起案中

臺灣に於ける簡易保險事務は昨年四月一日以來既に十一年を經過してゐるが、其施行の基部となるべき法律なく、勿論之に伴ふ臺灣總督府の豫算なく、從つて簡易保險事務は專ら遞信部に於て内地の簡易保險と協調の下に取扱ひ來つたのみであつたが、之が爲には内地の簡易保險と臺灣の簡易保險とを一元的に統一し、且つ臺灣に於ても簡易保險法を實施するの必要を痛感し、遞信部に於ては之が實現を期すべく目下保險數理の研究中であるが、これが實施されることにより臺灣の簡易保險事業は著しく擴張されることとなり、將來の郵便貯金と共に臺灣に於ける貯蓄奬勵の上に立つことゝ

新しい探究

銀河外宇宙系に對して

シャープレイ博士の發表



われわれの宇宙、すなはち銀河系は一つの凹鏡狀をなしてゐるがその凹鏡のまはりは、更に多くの星からなる一團の球、但し各々の星の間の距離の極めて大きい、つまり云つて見れば全體の密度の非常に小さな球が依存する、これはさきから唱へられてゐた天文學的假說であるが、最近この假說について實際に計つた天文學的研究の成果が米國天文學會の機關誌アメリカのハーバード天文臺のハーロー・シャープレイ博士によつて公表された、次に同博士の所說を紹介することとする

×

從來我々の周圍に考へられてゐた計算によればこの巨大な星の球は、凹鏡、つまりわれわれの銀河系の上下にそれぞれ四〇、〇〇〇箇年づつの厚みを有ち、そして凹鏡を含む直徑は一〇〇、〇〇〇光年に達する廣がりを有するものとされてゐたのだ

ところで今度の探究に於てこれらの星團を觀測に計る「天文學的距離」によつたのは、その數一〇〇以上に達する變光星團及び明るさであつた

この變光星團は銀河系の全體に散在してゐるが、そのうち最も遠いものは八五〇〇箇の明るさ——從つて地球から見られるその顯さは、それら星團の距離を計る極めて眞れた「物差し」となつた

×

この探究の結果は四〇、〇〇〇光年の距離が最大限と考へられ、そしてこれは恐らく銀河系の最も外縁に列るものと想像される、諸星團の配列狀態が、このやうな極めて密接點にある星團も依然として銀河系の一員であることを示してゐるからである

二、〇〇〇以上に上る星團のうち、その殆んどすべてはこの度の探究によつて始めてその存在を明らかにされたものである

更にわれわれの銀河系の形狀を銀河星團に依存する「宇宙の窓」を通して見られる諸々の星や星の中にあり、最初に星雲とされてゐるスカルプター星團と近く近くに位置してゐる、それは恐らく限界ある球狀星團からの距離を持つた一大星團で、地球からの距離は二一〇、〇〇〇光年に達するであらう

×

いまや天文學界は前例のない驚異と共にこれら球狀星團の探究にとりかかりつつある、蓋し、これらの發見は新しい宇宙觀に關する從來の觀念にまたとない變革を與へるであらうと考へられるからである

とにかく、新しい發見が、從來知られた如何なる星雲狀星團（星雲狀星團とは星の集團で、銀河系の外にあるものと考へられてゐる）これらと匹敵するそれらへの特質を或程度兼ねてゐることは明らかであり、そしてこのことはまた我々の住む宇宙の大きさと云へよう

氣球觀測の新記錄

カリフオルニア物理探究所のロバート・ミリカン、及びヴイクター・ネーアの兩博士によつて空中高く氣球を飛ばせられた十個の自記測候器は、このほど全部無事に同研究所の所在地パサデナに歸つて來た、これは從來この種實驗の開始から實驗の終了までの期間の短かさに於て新しい記錄を作つたものである、すなはち最初の一個が飛ばされてから一月以內に全數のこらず實驗室の手許に歸つて來たのであつた

これらの氣球はその各々に十個づつの氣球を結びつけて空中に放たれたが、その最高のものは八五〇〇呎の高さに達し、最も低かつたものも四〇、〇〇〇呎の上空に達した

しかし大部分のものは六五、〇〇〇呎以上の高度に到達することが出來た

地上に下りた氣球を見つけたものにはそれぞれ五個づつの懸賞が與へられた

ノース、ダコタ地方の一農人は彼が氣球を發見した當時の模樣を次のやうに報告してゐる

「最初これをパラシュートから取外さうとしたとき、上空で壓縮空氣が殘つてゐたので二つの氣球が强く自分の周圍で破裂しようになつた、しかし自分はただこの科學探究の一部を助けるためにやつたのだから懸賞金を貰はうなどとは考へてゐなかつたやうな物貨から發見されるといふ實例である

科學は新物質を創造

——重窒素、重硫黃の發見——

一つの元素であると信じられてゐた新しい物質を創造したといふ報道はビスマーク市で、發明者はオクラハマ市で、發表されたその氣球が飛ばされてから十五日の後であつた

十個の宇宙觀測用氣球のうち、大體の目的は、宇宙線がその源から地球の大氣の最上層に決定することによつて變化するといふ事實に關する研究であつた

一昨年つたと今度の實驗の結果によつて、宇宙線はビスマーク市で、發表されたそのニュースだが、これまで發表されたこの種のニュースだが、これまで發表されたこの種のニュースだが、これまで發表されたこの種の